



はくさんちゅう

柏三中だより 教育目標：豊かな心をもって 自ら学び鍛える生徒

三中魂

(挑戦・忍耐・協力)

第 320 号

令和5年11月30日発行

柏崎市立第三中学校 〒945-0845 柏崎市新赤坂 1-2-10

☎23-2821 E-mail: daisan@kenet.ed.jp

学 校
ホー ム
ペー ジ
→



生徒に「出会わせる」ことの大切さ

校長 須藤 泰司

暖冬という予測がもつばらな今年の冬ですが、天気の間断予報には早くも雪マークが出ています。それを期待する方もいるでしょうが、雪は降るべきところに降って、経済の好循環を作ってもらえれば。里の雪はほどほどでお願いしたいところです。

後期、共感し他者を尊重する豊かな心を育みたいと、以前お示しました。11、12月には人権について考える月で小学校を含めた三中校区で人権についての学習を深めていきます。それを宣言するように、11月の全校朝会を全校道徳として行いました。生徒たちの心にどんな気持ちが起こるだろうか、と期待して絵本をスライドに起こして拡大し、読み聞かせを行いました。「わたしのいもうと」は松谷みよ子さんの元に届いた一通の手紙をもとにこのことを「多くの人に知ってもらいたい」と、味戸ケイコさんの絵とともに絵本化したものです。

わたしのいもうと



あらすじ「一家で引っ越しをしてきた姉妹。転校した学校で妹はいじめを受けます。言葉がおかしいと笑われ、とびばこができないクラスの恥さらしとののしられ、くさい、豚と言われ、当番として配る給食を受け取ってもらえない。クラスの誰一人妹とは口を聞いてくれず、やがて学校に行かなくなってしまった妹。ご飯も食べず、口も利かずやせ衰えていく妹。お医者さんは、妹の体につねられたあざがたくさんあることに気がきます。やせ衰えていく妹を、母は必至で固く結んだ唇にスープを流し込み、抱きしめて抱きしめて…ようやく命を取り留めた。その後も、だまっただまま部屋に閉じこもる妹。部屋の外をいじめた子たちは、通り過ぎていきます。中学生となって。高校生となって…。母と姉は、鶴を折ります。ある日妹は、ひっそりとその命を落としたのでした。」

今日の話は、今まで聞いてきた話の中で、一番胸が痛い話でした。もし私が同じクラスだったら、こんな意味も理由も分からないいじめをなくしたい、止めたいと思いました。

～生徒ワークシートの記録から～

もし、周りでいじめられている人がいたら、ただ心配したり見ていたりするのではなく、その人の気持ちを考えて少しでも楽になってくれるように、寄り添っていききたいです。いじめている人を止めることはまだできないけど、いじめられている人の味方になって一緒に乗り越えることはできるので、見つけたらすぐに行動したいです。いじめが起きる前に止めることが大事だと思ったし、いじめがない世の中にしたいと、心の底から思いました。

体育館が、しんと静まり返っていました。私は、生徒たちに一つ視点を与えて、話を終えました。「この妹のクラスにあなたがいたとしたら、何をしますか。何ができますか。」

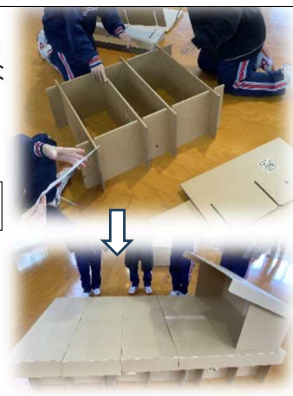
と。教育の役割の中で、「生徒に出会わせる」ことの大切さがあります。教え込むこともあるでしょうし、習ったことを活用することも必要です。価値・感動・生き方など、教師が解説をしなくともただ出会わせることで、多くのことを子供たちが自分自身で感じ取り学ぶのです。「生徒に何を出会わせるか」。我々教師の重要な役割を自覚するところです。

地域の一員として～防災学習～

3年生たちが「総合的な学習の時間」で取り組んでいる「防災学習」。災害時には避難所となる三中そして地区のコミュニティセンター（コミセン）で、現地体験学習に取り組みました。自分の家に近いところへ避難する可能性が高いため、出身小学校ごとに各避難所に向きました。避難所となった時の対応について説明を受け、災害時に備蓄している水や乾パンなどを見させていただきました。平成19年に起きた中越沖地震の時のお話、今も残るその爪痕を見せていただくなど、センター長様には大変お世話になりました。災害は、いつ起こるかわかりません。平日の日中であれば、働く大人たちは自宅の近辺にはいない場合が多いと予想されます。そんな時に、中学生の活躍が期待されています。小学生や子供たちのサポート、避難民への物品配給の手伝い、ご高齢の方々への声掛けなど、3年生たちは自分たちにできることを考えました。この学習を通して、自分がどこにいても、将来異なる土地にいたとしても、自らの命をしっかりと守ること、他者と協力して困難を乗り越えることができるようになってほしいものです。たくさんの方々に教えてくださった柏崎市防災原子力課の皆様、センター長をはじめコミセンの皆様にご心より感謝致します。



段ボールベッドを組み立てまし



今も残る中越沖地震の爪痕



絆スクール集会（11月22日）

三中校区の6年生を三中に招いて、6年生と三中1年生が一緒になり「絆スクール集会」を行いました。小中学生で班を作り、最初に自己紹介とゲームを行い、緊張をほぐしました。その後、1年生の前期・後期の学年委員が収録した動画を観て、「この行動はいじめかどうか？」「この行動のどこに問題があったのか？」などを考え、話し合いました。1年生が小学生をリードし、話し合いを進めていて、先輩としての自覚が見られました。

【生徒の感想】

- ・無意識にやっていることがもし人の嫌がることにつながっていたら、早く気づいてやめたいと思いました。
- ・いじめられている人がいたら話しかけて守ります。
- ・中学生生活の不安の質問の時には、1年前の自分もふまえて、6年生に伝えることができました。
- ・私たちが小6の時はZOOMでやったので、今回のように小学生とやるのが初めてで緊張しました。



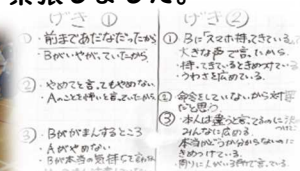
学年委員長の挨拶



ゲームが盛り上がりしました



たくさんの意見が出ました



意見をまとめたボード



代表者の意見発表

生徒会役員選挙立会演説会・投票（11月29日）

来年度の鳴海会（生徒会）のリーダーを選ぶ生徒会役員選挙が行われました。連日立候補者だけでなく、責任者・推薦者も一緒に朝や昼に活動を行いました。立会演説会では、立候補者それぞれがとても立派な態度で、未来の三中をさらに良くしていくための公約を述べました。全校生徒も真剣な表情で演説を聞き、投票を行いました。

【当選者と選挙公約】

生徒会長：山田 「当たり前のことを当たり前でできる三中をつくる。仲間のためにできることを見つけ、行動に移せるような三中をつくる。」

副会長男子：丸田 「沢山の人が自分から行動できるようになる。挑戦する人を応援できるようになる。」

副会長女子：大川 「学校・地域のことを考えて行動できる三中づくり。仲間の良さを見つけれられる三中づくり。」

応援団長：近藤 「全員が気持ちよくあいさつができる三中にする。全員がメリハリを付け、行動する。」



<<三中生の活躍！>>

上越地区中学校新人卓球大会

2年男子 9位 丸山 県大会（12/3 小千谷市開催）出場

2年女子 17位 桑原 県大会（12/3 小千谷市開催）出場

上越地区中学校新人男子テニス大会

団体 3位 県大会（12/16 燕市開催）出場

新潟県中学校駅伝競走大会

<男子>28位 1時間6分54秒

1区 柳 2区 丸山 3区 市川 4区 池田 5区 泉 6区 壘

<女子>31位 56分20秒

1区 佐々木 2区 田邊 3区 渡邊 4区 中野 5区 三富

全国人権作文コンテスト新潟県大会審査結果

新潟県方法務局長賞 品田「それだけで」

優良賞 河原「過ごしやすい社会」



=これからの予定=

<12月> 1日(金) 鳴海会リーダー希望調査 マインドチェック 4日(月) 保護者学校評価配付日 5日(火) 口座引落日 生徒朝会（三役任命） 三三校区人権教育、同和教育公開授業(5限・全学級) 生徒学校評価（終学活10分延長） 7日(木) 人権講話（1年生・4限） 9日(土) 作品展準備（美術部） 10日(月) 作品展（～15日） ベネッセテスト（～15日） 12日(火) 3年生三者面談、1,2年生個別面談 5限授業（～15日）	15日(金) 18日(月) 22日(金) 25日(月) 26日(火) 29日(金) <1月> 9日(月)	鳴海会リーダー希望締切 3年生学習の確認テスト 鳴海会 鳴海会リーダー面接（～20日） 清掃強調週間（～22日） 休業前集会 3年生面接練習 冬季休業（～1/8） 柏崎刈羽生徒会交歓会(翔洋中等) 閉庁日（～1/3） 休業後集会 マインドチェック
---	--	---